

# 3 財 政

練馬区など特別区は、他の市町村と同じく住民に最も身近な自治体であるが、大都市行政の一体性を保つ上で、財政面においてもさまざまな特徴がある。

## (1) 特別区財政制度の現状

### ●都区財政調整制度

特別区は、本来「市が行う事務」を担うこととされているが、一方で特別区行政の一体性確保の観点から「市が行う事務」のうち一部を都が行っている。

また、一般的には市町村の財源とされている3税（固定資産税、市町村民税法人分、特別土地保有税）についても、こうした特殊性から特別区の地域においては都が課税、徴収する特例的な扱いとなっている。

都区財政調整制度とは、この3税と法人事業税交付対象額および固定資産税減収補填特別交付金との合算額を都区の共有財源として、特別区と都の事務配分に相応してその役割に見合った財源配分を行うとともに、特別区間の著しい財源の偏りを調整し、行政水準の均衡を図るための制度である。

この共有財源のうち、4年度は55.1%が特別区交付金として財源の不足する区に配分された。

5年度における、練馬区の一般会計当初予算に占める割合は31.1%であり、一番大きな財源となっている。

### ●起債の発行

財政負担の平準化や世代負担の公平化のため、地方債の発行を行うことができる。発行に当たっては、都知事に事前協議を行う。なお、平成24年度から、一部について届出制が導入されている。

### ●地方交付税

地方交付税は、国が徴収した税金の一定部分を自治体の財政力の違いに応じて配分するものである。

特別区は、東京都の大都市分として一括算定されるため、直接の交付対象団体とはなっていない。

4年度の交付税算定結果では、都は財源の豊かな富裕団体と国からみなされ、地方交付税は不交付となっている。

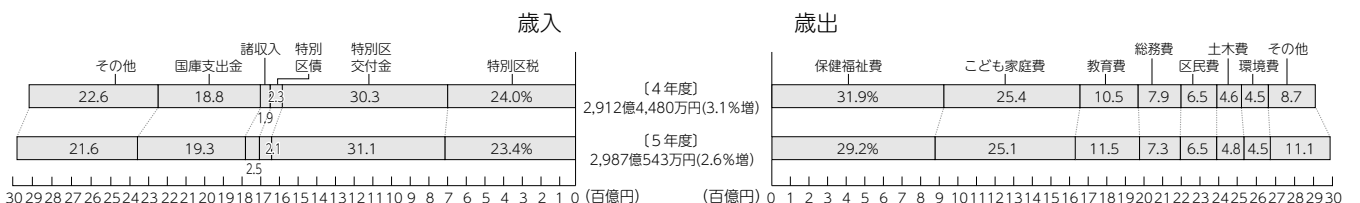
### ●国庫支出金

国庫支出金は、国が地方公共団体の支出する特定の事業に要する経費について交付する支出金であるが、実際に必要な経費に見合うだけの金額が交付されないため、いわゆる超過負担が生じている。

また、これまで、平成16年度からの三位一体改革により、一部国から地方公共団体への税源移譲が行われたものの、各種補助金は削減されている。

区では、分権型社会の実現のため、地方分権改革の推進と地方が担う役割に見合う地方税源の充実を国に要望している。

〔一般会計歳入歳出（当初）額の推移〕



## (2) 令和5年度当初予算

### ●当初予算編成に当たっての基本方針

#### 1 区財政を取り巻く状況

我が国の経済は、コロナ禍により大きな打撃を受け、令和2年度の実質GDP成長率は、リーマンショックを超えるマイナス4.1%に落ち込んだ。3年度に入り持ち直しの動きが続き2.5%のプラス成長に転じ、4年度も今のところ景気は緩やかに持ち直している。一方、ロシアによるウクライナ侵略などの不安定な情勢を背景に世界的な金融引締めが進む中で、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、エネルギーや食料品を中心とする物価上昇が続いており、経済の先行きは不透明感が増している。

国の財政は、少子高齢化・人口減少により経済活力が弱まり、国際競争力が低下するなかで、赤字国債の発行を重ねた結果、国と地方を合わせた債務残高はGDPの2倍を超える世界に類を見ない状況となっている。長期金利や物価の上昇が国民生活や国家財政に及ぼす影響が危惧されている。

練馬区の財政も、依然として予断を許さない状況が続いている。令和5年度当初予算編成においては、歳入は経済の回復傾向が持続してもなお、歳入一般財源の不足が見込まれることから、基金・起債合わせて約120億円を活用する。今後も同様のペースで取崩しを続ければ、基金は数年で底をつき、起債残高が大幅に増加する可能性がある。歳出は保育関係経費を中心に主な社会保障経費がこの10年で倍増し、区の判断で抑制・削減が困難な義務的経費が予算の5割以上を占めている。また、老朽化した区立施設が一斉に更新時期を迎えており、改修・改築には多額の経費を要する。遅れている都市インフラの整備等、区特有の課題にも取り組まなければならない。物価上昇による区民生活や事業活動への影響も続いている。

#### 2 練馬区の更なる発展に向けた予算編成

令和5年、練馬区は更に発展する好機を迎える。4月には名誉区民である牧野富太郎博士をモデルとしたNHK連続テレビ小説「らんまん」の放映がスタートする。5月には都立練馬城址公園が一部開園し、夏には世界的な人気作品の世界が体験できる「ハリー・ポッター スタジオツアー東京」が練馬区に開業される。11月には世界都市農業サミットで培った知見やネットワークを活かし、都市農業の意義と可能性を発信する「全国都市農業フェスティバル」を開催する。

全国から注目が集まる大きな事業・イベントが控える状況を、区の魅力を広く発信する絶好の機会と捉え、キャッチコピー「ねりま推し」を活用するなど、

効果的かつ戦略的に広報を展開し、多くの区民と協働して練馬区を盛り上げる。

政策面においても、順天堂練馬病院の三次救急医療機関への指定が令和4年度末までに実現する。また、東京都練馬児童相談所（仮称）の整備、都営大江戸線の延伸に向けた調査検討、西武新宿線の連続立体交差事業の推進、区立美術館の再整備等、大きなプロジェクトが次々と進行している。

これらを含め、「第2次みどりの風吹くまちビジョン 改定アクションプラン」に位置づけた施策は着実に推進する。令和5年度には、「（仮称）第3次みどりの風吹くまちビジョン」を策定し、目指す将来像の実現に向けた、次の政策展開を明らかにする。これに先立ち4年度中に、「区民協働」、「DX」、「人事・人材育成」の3つの柱による「（仮称）取組強化プラン」を成案化し、政策を実現する具体的な仕組みや態勢の強化にも取り組む。

3年に及ぶコロナ禍において、区は、区民の命と健康を守り、区民生活を支えるために必要な対策を、時機を逸することなく実施してきた。令和5年度も引き続き、新型コロナと共存する社会の実現に向けた対策や、物価上昇の影響を受けた区民・事業者への支援に取り組む。

予算編成にあたっては、既存の施策事業の見直しを徹底し、歳出削減に取り組んだ。歳入面では、国・都支出金などの特定財源の確保に努めるとともに、寄付制度を活用した自主財源の確保などに努めている。学校改築、病院、道路、公園の整備など社会資本形成に資する事業には、基金の活用とともに、世代間負担の公平を図るため、後年度負担に配慮しつつ起債を積極的に活用する。

こうした取組により、厳しい財政状況のなかにあっても、グランドデザイン構想で示した、練馬区の目指す将来像の実現に向けた施策を着実に推進しつつ、持続可能な財政運営を堅持していく。

### ●一般会計

5年度当初予算における一般会計は2,987億543万円で、4年度当初予算に比べて2.6%の増となっている。

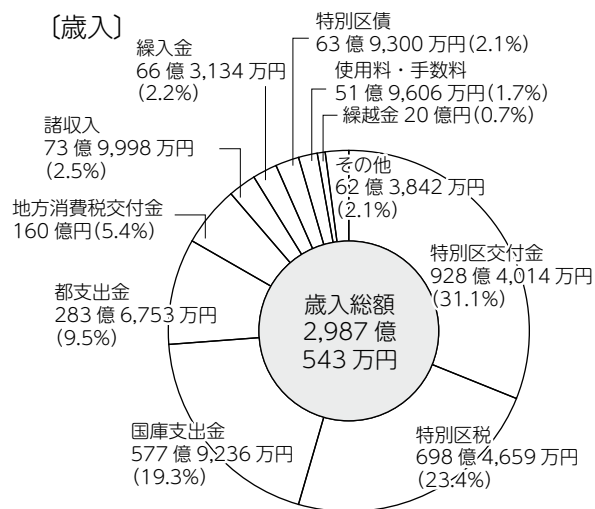
### ●特別会計

特別会計は、国民健康保険事業会計662億8,598万円（前年度比1.0%増）、介護保険会計620億2,324万円（同0.5%増）、後期高齢者医療会計191億7,215万円（同4.1%増）、公共駐車場会計3億3,938万円（同4.0%減）である。

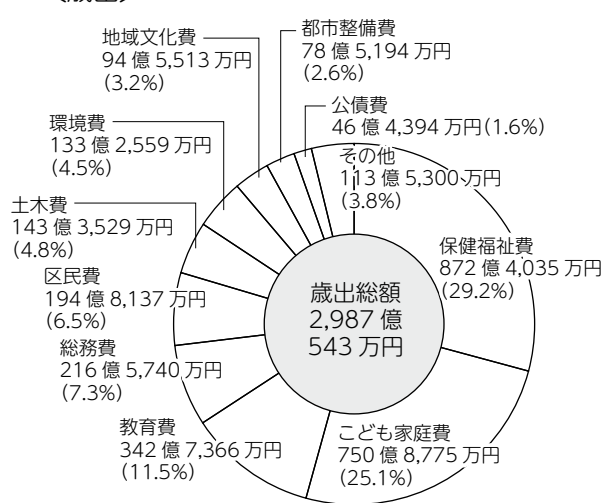
## 5年度一般会計予算

## 〔歳入〕

区分	予算額	構成比	前年度	増減率
	千円	%	千円	%
特別区税	69,846,592	23.4	69,781,702	0.1
地方譲与税	1,058,000	0.4	1,108,000	△ 4.5
利子割交付金	190,000	0.1	190,000	0.0
配当割交付金	1,100,000	0.4	1,000,000	10.0
株式等譲渡所得割交付金	1,000,000	0.3	1,100,000	△ 9.1
地方消費税交付金	16,000,000	5.4	15,420,000	3.8
環境性能割交付金	320,000	0.1	360,000	△ 11.1
地方特例交付金	540,000	0.2	490,000	10.2
特別区交付金	92,840,138	31.1	88,337,511	5.1
交通安全対策特別交付金	64,000	0.0	64,000	0.0
分担金及び負担金	1,274,854	0.4	1,233,057	3.4
使用料及び手数料	5,196,060	1.7	5,068,023	2.5
国庫支出金	57,792,362	19.3	54,861,549	5.3
都支出金	28,367,532	9.5	27,475,951	3.2
財産収入	685,264	0.2	382,050	79.4
寄付金	6,301	0.0	8,901	△ 29.2
繰入金	6,631,344	2.2	10,151,834	△ 34.7
繰越金	2,000,000	0.7	2,000,000	0.0
諸収入	7,399,978	2.5	5,483,226	35.0
特別区債	6,393,000	2.1	6,729,000	△ 5.0
合計	298,705,425	100.0	291,244,804	2.6



## 〔歳出〕



## 〔歳出 (目的別)〕

区分	予算額	構成比	前年度	増減率
	千円	%	千円	%
議会費	1,024,481	0.3	999,920	2.5
総務費	21,657,397	7.3	22,975,684	△ 5.7
区民費	19,481,370	6.5	19,003,041	2.5
産業経済費	5,509,155	1.8	2,983,399	84.7
地域文化費	9,455,130	3.2	6,828,947	38.5
保健福祉費	87,240,351	29.2	93,028,881	△ 6.2
環境費	13,325,591	4.5	12,958,754	2.8
都市整備費	7,851,939	2.6	4,732,991	65.9
土木費	14,335,294	4.8	13,335,315	7.5
教育費	34,273,659	11.5	30,545,950	12.2
子ども家庭費	75,087,747	25.1	73,941,575	1.6
公債費	4,643,944	1.6	4,684,579	△ 0.9
諸支出金	4,719,367	1.6	5,125,768	△ 7.9
予備費	100,000	0.0	100,000	0.0
合計	298,705,425	100.0	291,244,804	2.6

## 〔歳出 (性質別)〕

性質別経費	予算額	構成比	前年度	増減率
	千円	%	千円	%
義務的経費	152,530,977	51.1	153,321,542	△ 0.5
人件費	44,938,799	15.0	47,927,888	△ 6.2
扶助費	102,962,425	34.5	100,733,659	2.2
公債費	4,629,753	1.5	4,659,995	△ 0.6
投資的経費	29,617,520	9.9	25,761,177	15.0
普通建設事業費	29,617,520	9.9	25,761,177	15.0
その他の経費	116,556,928	39.0	112,162,085	3.9
物件費	66,855,383	22.4	61,657,154	8.4
維持補修費	2,774,758	0.9	2,792,163	△ 0.6
補助費等	18,744,352	6.3	19,219,111	△ 2.5
積立金	1,521,097	0.5	1,819,927	△ 16.4
投資及び出資金	0	0.0	0	0.0
貸付金	3,281,645	1.1	3,384,950	△ 3.1
繰入金	23,279,693	7.8	23,188,780	0.4
予備費	100,000	0.0	100,000	0.0
合計	298,705,425	100.0	291,244,804	2.6

## 5年度特別会計予算

## 〔国民健康保険事業会計〕

区 分	予算額	構成比	前年度	増減率
(歳入)	千円	%	千円	%
国民健康保険料	18,673,867	28.2	17,853,152	4.6
一部負担金	2	0.0	2	0.0
使用料及び手数料	1	0.0	1	0.0
国庫支出金	1	0.0	1	0.0
都支出金	41,837,279	63.1	41,740,091	0.2
財産収入	1	0.0	1	0.0
繰入金	5,489,112	8.3	5,729,316	△ 4.2
繰越金	200,000	0.3	200,000	0.0
諸収入	85,712	0.1	79,174	8.3
特別区債	1	0.0	1	0.0
歳入合計	66,285,976	100.0	65,601,739	1.0
(歳出)				
総務費	1,180,141	1.8	1,160,930	1.7
保険給付費	41,362,505	62.4	41,354,823	0.0
国民健康保険事業費納付金	22,673,604	34.2	22,014,355	3.0
財政安定化基金拠出金	1	0.0	1	0.0
保健事業費	719,011	1.1	730,216	△ 1.5
諸支出金	150,714	0.2	141,414	6.6
予備費	200,000	0.3	200,000	0.0
歳出合計	66,285,976	100.0	65,601,739	1.0

## 〔介護保険会計〕

区 分	予算額	構成比	前年度	増減率
(歳入)	千円	%	千円	%
介護保険料	12,675,294	20.4	12,615,433	0.5
国庫支出金	14,626,191	23.6	14,456,593	1.2
支払基金交付金	16,389,588	26.4	16,298,208	0.6
都支出金	9,038,826	14.6	9,028,878	0.1
財産収入	1,595	0.0	1,911	△ 16.5
繰入金	9,265,030	14.9	9,291,794	△ 0.3
繰越金	22,637	0.0	22,804	△ 0.7
諸収入	4,083	0.0	5,947	△ 31.3
歳入合計	62,023,244	100.0	61,721,568	0.5
(歳出)				
保険給付費	59,130,275	95.3	58,841,823	0.5
財政安定化基金拠出金	1	0.0	1	0.0
地域支援事業費	2,868,731	4.6	2,855,024	0.5
基金積立金	1,600	0.0	1,916	△ 16.5
諸支出金	22,637	0.0	22,804	△ 0.7
歳出合計	62,023,244	100.0	61,721,568	0.5

## 〔後期高齢者医療会計〕

区 分	予算額	構成比	前年度	増減率
(歳入)	千円	%	千円	%
後期高齢者医療保険料	9,547,199	49.8	9,166,120	4.2
使用料及び手数料	1	0.0	1	0.0
広域連合支出金	541,506	2.8	521,445	3.8
繰入金	9,041,425	47.2	8,687,152	4.1
繰越金	25,697	0.1	26,101	△ 1.5
諸収入	16,322	0.1	15,216	7.3
歳入合計	19,172,150	100.0	18,416,035	4.1
(歳出)				
総務費	151,685	0.8	202,929	△ 25.3
広域連合拠出金	17,848,359	93.1	17,079,436	4.5
保健事業費	821,579	4.3	800,939	2.6
葬祭費	324,800	1.7	306,600	5.9
諸支出金	20,727	0.1	21,131	△ 1.9
予備費	5,000	0.0	5,000	0.0
歳出合計	19,172,150	100.0	18,416,035	4.1

## 〔公共駐車場会計〕

区 分	予算額	構成比	前年度	増減率
(歳入)	千円	%	千円	%
繰入金	75,555	22.3	63,528	18.9
繰越金	1	0.0	1	0.0
諸収入	263,825	77.7	289,930	△ 9.0
歳入合計	339,381	100.0	353,459	△ 4.0
(歳出)				
公共駐車場事業費	298,954	88.1	299,049	0.0
公債費	17,903	5.3	37,084	△ 51.7
諸支出金	17,524	5.2	12,326	42.2
予備費	5,000	1.5	5,000	0.0
歳出合計	339,381	100.0	353,459	△ 4.0

施策の柱 1	<b>【戦略計画 1】子育てのかたちを選択できる社会の実現</b> (912 百万円)
子どもたちの笑顔 輝くまち	<p><b>1 医療的ケア児への対応の充実</b></p> <p>医療的ケア児への適切な支援やその家族の介護負担軽減のため、新たにこども発達支援センターに医療的ケア児に関する総合相談窓口を設置する。</p> <p>令和5年度当初に策定する医療的ケア児への新たな支援方針に基づき、小・中学校教員や保育園の保育士、看護師等への実技を含む研修などを実施する。また、宿泊学習や修学旅行などへ親の同行が難しい児童・生徒については同行看護師を配置するなど、学校等における医療的ケア児への支援充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★医療的ケア児に関する総合相談窓口の設置 [4 百万円]</li> <li>★教員、保育士などへの研修の実施 [1 百万円]</li> <li>★宿泊学習などにおける医療的ケア児の同行看護師配置 [1 百万円]</li> </ul> <p><b>2 障害児保育の充実</b></p> <p>障害児保育の充実や受入促進のため、私立保育所全園への障害児保育巡回指導を強化する。また、私立幼稚園では、5人以上障害児を受け入れる場合の保育委託料を増額する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○私立保育所への障害児保育巡回指導の強化 [13 百万円]</li> <li>○私立幼稚園への障害児保育委託料の増額 [243 百万円]</li> </ul> <p><b>3 保育サービスの充実</b></p> <p>民間事業者のノウハウを活用するため、谷原5丁目区有地に私立認可保育所を整備する。また、都営住宅の改築に合わせ、区立保育園の改築を行う。</p> <p>令和6年4月入園選考から、スマートフォン等による入園申込を開始する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★新たな私立認可保育所の整備(1園) [359 百万円]</li> <li>○区立上石神井第三保育園の改築 [231 百万円]</li> <li>★保育園入園申請のオンライン対応(令和6年4月入園選考から導入) [—]</li> </ul> <p><b>4 家庭での子育て支援サービスと練馬こどもカフェの充実</b></p> <p>親子交流や子育ての悩みや不安を気軽に相談できる民設子育てのひろば運営補助金を増額し、運営の安定化や新規事業者の参入促進を図る。</p> <p>子育て中の保護者が身近な場所で気軽に子育てに関する相談ができるよう、屋外での親子交流の場「おひさまびよびよ」や児童館学童クラブ室を活用した子育てひろば「にこにこ」への相談員の配置を拡充する。</p> <p>現在、7店舗で実施している「練馬こどもカフェ」は、8店舗に拡大する。このうち2店舗では、店舗が自ら子育て講座等を企画して実施する自主運営型を本格実施する。</p> <p>希望する子育て支援サービスの知る・探す・申し込むができる「(仮称)ねりま子育て支援アプリ」を令和6年度から導入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「民設子育てのひろば」事業補助の増額 [33 百万円]</li> <li>○外遊び型ひろば「おひさまびよびよ」の拡充(7か所→8か所) [1 百万円]</li> <li>○子育てひろば「にこにこ」への相談員配置拡充(6か所→8か所) [—]</li> <li>○「練馬こどもカフェ」の拡大(7店舗→8店舗) [2 百万円]</li> <li>★(仮称)ねりま子育て支援アプリの構築 [24 百万円]</li> </ul>
	<b>【戦略計画 2】子どもの成長に合わせた切れ目のないサポートの充実</b>
	<b>【戦略計画 3】すべての小学生を対象に放課後の居場所づくり</b> (3,685 百万円)
	<p><b>1 児童相談体制「練馬区モデル」の進化</b></p> <p>東京都が、区の子ども家庭支援センターと同一施設内に、東京都練馬児童相談所(仮称)を設置する。令和6年度開設に向け、5年度は、都の経費負担により、区が施設の改修工事を行う。</p>

施策の柱 1

子どもたちの笑顔  
輝くまち

★東京都練馬児童相談所（仮称）設置に向けた改修工事に着手 [228 百万円]

2 ねりっこクラブ実施校の拡大など

引き続き、「学童クラブ」と「ひろば事業」それぞれの機能や特色を維持しながら一体的に運営を行う「ねりっこクラブ」の早期全校実施に取り組む。

既に児童館等で利用されている、児童の入退室を電子メールで確認できる「キッズ安心メール」を新たに9か所（ねりっこひろば5か所、学校応援団ひろば4か所）設置する。これにより、全小学校のひろば室で設置完了する。

○「ねりっこクラブ」を7校拡大（45校→52校） [3,022 百万円]

○キッズ安心メールの全小学校ひろば室への設置完了 [3 百万円]

3 すべての妊婦・子育て家庭への寄り添い支援

妊娠届出時や産後の育児期の面談を通じ、妊婦や子育て家庭の不安や悩みの相談を受け、必要な支援につなげる子育てサポート体制を充実する。妊娠・出産された方には、国や都の補助スキームを活用し、22万円相当（妊娠届時6万相当、出生届時15万円相当、1歳到達時1万円相当）を支給する。

★（国）出産・子育て応援交付金事業（妊娠届時・出生届時 各5万円相当）

[R5年10月～R6年3月分：304百万円]

[※1,135百万円]

※R4年4月～R5年9月分は令和4年度補正予算に計上（繰越明許）

（都）妊娠期応援事業費（妊娠届時1万円相当） [62百万円]

（都）出産応援事業（出生届時10万円相当） [2百万円]

★（都）バースデーサポート事業（1歳到達時1万円相当） [64百万円]

【戦略計画4】夢や目標を持ち困難を乗り越える力を備えた子どもたちの育成

[6,561 百万円]

1 支援が必要な子どもたちへの取組

令和4年度に実施した実態調査に基づき、チェックリストの活用やスクールソーシャルワーカーの学校訪問をより頻回にすることで、ヤングケアラーや不登校などの課題を抱える児童・生徒を積極的に発見する。また、新たに（仮称）子ども相談アプリを導入し、児童・生徒がより気軽に悩みを相談できる体制を整える。

ヤングケアラーについては、新たに子ども家庭支援センターを支援調整機関に位置づけ、発見したケースごとに庁内関係機関との情報共有や支援方針の決定、役割分担を図る。

○スクールソーシャルワーカーの増員（16人→20人） [33百万円]

○子ども家庭支援センター専門職員の増員（51人→59人） [59百万円]

★（仮称）子ども相談アプリの導入 [13百万円]

2 学校の教育環境の整備

児童・生徒の安全で快適な教育環境を整備するため、区立小・中学校の改築を推進する。小中学校体育館への空調設備は、令和7年度の整備完了を目指す。トイレの洋式化や床ドライ化などについては、平成29年度に1系統目の改修を完了しているため、順次2系統目以降の改修に取り組む。

○校舎改築等（設計5校、改築工事3校） [4,607百万円]

○体育館空調整備（小学校11校・中学校7校） [1,261百万円]

○トイレの洋式化等整備（小学校5校・中学校1校） [588百万円]

施策の柱 2

高齢者が住みなれた  
地域で暮らせるまち

【戦略計画 5】 高齢者地域包括ケアシステムの確立

[310 百万円]

1 地域包括支援センターの増設・移転

地域包括ケアシステムの中核機関である地域包括支援センターを、中村敬老館の機能転換および民間特別養護老人ホーム内への設置により、令和 5 年 4 月に 2 か所増設する。これにより、団塊世代全ての方が後期高齢者となる令和 7 年に向けて取り組んできた地域包括センター 27 か所体制の整備が完了する。

また、大泉学園地域包括支援センターを令和 6 年 9 月頃に東大泉地区区民館内へ移転する。

★地域包括支援センターの増設・移転 [16 百万円]

2 都市型軽費老人ホームなどの整備充実

団塊の世代が後期高齢者となる令和 7 年に向け、在宅生活が困難な方全てが希望する時期に入所できるよう都市型軽費老人ホームなどの整備を促進する。

○都市型軽費老人ホーム [108 百万円]

1 施設（定員 20 人）に補助（開設 R6 年 6 月）

○認知症高齢者グループホーム [90 百万円]

1 施設（定員 9 人）に補助（開設 R6 年 8 月）

○看護小規模多機能型居宅介護事業所 [83 百万円]

1 施設（定員 29 人）に補助（開設 R6 年 8 月）

3 練馬光が丘病院跡施設における医療・介護複合施設の整備

区内初の緩和ケア病床を備えた病院や介護医療院等からなる医療・介護の複合施設を整備する。令和 5 年度から 6 年度にかけて改修工事を実施する。

★医療・介護の複合施設の整備（R7 年 4 月開設予定） [-]

[再掲 ※【戦略計画 10】 2 練馬光が丘病院跡施設における医療・介護複合施設の整備]

4 もの忘れ検診の充実

練馬区医師会と連携して実施する「もの忘れ検診」について、これまで 70・75 歳のみであった対象者を拡大し、70 歳以上の希望者全員が受診できるようにする。

○もの忘れ検診の対象者の拡大 [13 百万円]

【戦略計画 6】 元気高齢者の活躍と健康づくり・介護予防の推進

[181 百万円]

1 「高齢者みんな健康プロジェクト」の充実

区が保有する医療・健診・介護などのデータを活用して抽出した対象者に、個別訪問や講座案内などの働きかけを行う。また、栄養・フレイル予防などの各種講座やフレイルサポーターの育成研修を行い、高齢者の健康保持・増進につなげる。令和 5 年度は新たに高齢者実態調査未回答かつ健康状態不明な 80 歳以上の高齢者（130 人程度）を対象に加える。

○高齢者みんな健康プロジェクトの対象者の拡大 [24 百万円]

2 街かどケアカフェの充実

介護予防の拠点となる街かどケアカフェを、地域のサロン活動との連携や敬老館の機能転換により増設する。

○街かどケアカフェの充実 [91 百万円]

区立施設活用：5 か所→6 か所（1 か所増）

地域サロン連携：28 か所→31 か所（3 か所増）

3 デジタルを活用した高齢者のフレイル予防事業

高齢者の社会参加を支援する区独自のアプリ「フィット&ゴー」を導入する。スマホから取得したデータを AI 分析し、利用者ごとの趣味関心にあわせた社会参加先の情報を発信する。

<p>施策の柱 2</p> <p>高齢者が住みなれた地域で暮らせるまち</p>	<p>★介護予防および社会参加支援アプリ構築委託 [40 百万円]</p> <p>4 高齢者向けスマホ教室などの充実</p> <p>高齢者のデジタル格差の解消を図るため、初心者を対象とした入門編の開催回数を充実するとともに、習得したい内容を重点的に学べるよう新たに目的別の実践編を実施する。また、シニアのスマホ相談員によるスマホ相談会を実施する。</p> <p>○入門編スマホ教室の充実 [9 百万円]</p> <p>★シニアデジタル活用支援等業務委託 [2 百万円]</p> <p>★実践編スマホ教室等の開始 [10 百万円]</p> <p>5 区独自の介護予防事業の充実</p> <p>65 歳以上の方の外出機会創出のため、敬老館や地区区民館などで、体操や趣味活動を実施するいきがいデイサービスの新たな形態として、区内公衆浴場で開始する。入浴前に体操・レクリエーションを実施、その後のグループ入浴により地域のコミュニケーションをさらに促進するとともに、公衆浴場の利用者拡大にも寄与する。</p> <p>★フロ・マエ・フィットネス（いきがいデイサービス）の開始 [5 百万円]</p>
<p>施策の柱 3</p> <p>安心を支える福祉と医療のまち</p>	<p>【戦略計画 7】 障害者が地域で暮らし続けられる基盤の整備 [318 百万円]</p> <p>1 障害者とその家族を支える施設の充実</p> <p>特に需要が高い重度障害者グループホームを、石神井町福祉園跡地に整備する。</p> <p>★重度障害者グループホームの整備（R7 年度開設予定） [58 百万円]</p> <p>2 高齢化・重度化に対応するための福祉作業所などの機能見直し</p> <p>利用者の高齢化や障害の重度化に対応するため、施設を改修するとともに、民営化によりサービスを拡充する。北町福祉作業所は、令和 6 年度に民営化し、新たに生活介護事業を開始する。貫井福祉園・貫井福祉工房は、サービスの拡充について運営事業者と協議する。</p> <p>★北町福祉作業所大規模改修工事 [233 百万円]</p> <p>★貫井福祉園・貫井福祉工房大規模改修基本設計 [15 百万円]</p> <p>3 障害者の意思疎通支援の充実</p> <p>令和 4 年 6 月に制定した「練馬区障害者の意思疎通の促進と手話言語の普及に関する条例」に基づく取組をさらに推進するため、新たな支援事業を実施する。</p> <p>★失語症者向け意思疎通支援者派遣事業の開始 [1 百万円]</p> <p>★障害者とのコミュニケーションサポーター養成研修の開始 [2 百万円]</p> <p>★ICT を活用した就労におけるコミュニケーション支援事業の開始 [1 百万円]</p> <p>○日常生活用具給付事業の充実 [2 百万円]</p> <p>（携帯用会話補助装置の対象拡大、情報通信支援装置の基準額増）</p> <p>4 触法障害者の自立を支援し、再犯防止を推進</p> <p>触法障害者を受け入れ、個別の支援計画に基づき、社会復帰に向けた支援を行っているグループホームに対して、専門職の人件費の一部を補助し、支援体制を充実する。</p> <p>★障害者グループホームにおける自立支援促進事業への補助 [6 百万円]</p> <p>【戦略計画 8】 ひとり親家庭や生活困窮世帯等の自立を応援 [332 百万円]</p> <p>1 ひとり親家庭自立応援プロジェクトの充実</p> <p>令和 4 年度に実施した「ひとり親家庭ニーズ調査」の結果を踏まえ、自立に向けた支援策の充実を図る。相談する時間・余裕が無い、窓口の開設時間に利用ができないといった声に対応するため、新たにオンライン相談を実施するなど相談体制の強化を図る。また、資格取得のための修学期間中の生活費を賄えるよう高等職業訓練促進等給付金を増額する。さらに、養育費を確保するため、新たに ADR（裁判外紛争解決手続き）費用を助成する。</p>



施策の柱3

安心を支える福祉と  
医療のまち

★ひとり親家庭自立応援プロジェクトの充実 [174百万円]

★相談体制の強化（オンライン相談、弁護士による土曜法律相談の実施）

○高等職業訓練促進等給付金の増額（14万円⇒16万円/月+多子加算）

★養育費確保のためのADR費用の助成（上限5万円）

2 生活困窮者への相談支援体制の充実

増加が見込まれる生活困窮者の生活相談に迅速かつ適切に対応するため、生活サポートセンターの相談支援員を更に増員する。

○生活サポートセンターにおける自立相談支援体制の強化 [114百万円]

3 中高年のひきこもりや8050問題への支援の強化

複合的な課題を抱えながら、支援が行き届かない世帯を早期に発見し、支援につなぐため、地域福祉コーディネーターによるアウトリーチ型の支援を新たに実施する。区民や地域団体から情報を収集し、個別訪問などを行う。あわせて適切な支援につなげるため、各機関の支援の調整役となる連携推進担当を増員する。

また、就労サポート拠点「明日葉ステーション」において、就労に向けた第一歩として、社会と接する機会を経験する居場所を提供する。これにより、就労前から就労後の定着まで切れ目のない支援を実施する。

★地域福祉コーディネーターによるアウトリーチ型支援の開始 [21百万円]

○連携推進担当の増員 [21百万円]

★社会参加に向けた居場所支援の開始 [2百万円]

【戦略計画9】感染症対応力の強化と安心して医療が受けられる体制の整備

【戦略計画10】コロナ禍を乗り越える区民一人ひとりの健康づくりを応援

[186百万円]

1 感染症の拡大時や災害時に備えた医療体制の整備

三次救急の指定が予定されている順天堂練馬病院において、医療機能の整備や災害拠点病院機能の充実を図るため、地区計画等を変更する。

○東京都など関係機関との調整・協議等 [3百万円]

2 練馬光が丘病院跡施設における医療・介護複合施設の整備

区内初の緩和ケア病床を備えた病院や介護医療院等からなる医療・介護の複合施設を整備する。令和5年度から6年度にかけて改修工事を実施する。

★医療・介護の複合施設の整備（R7年4月開設予定） [-]

3 健診（検診）受診環境の充実

自分が受けるべき検診が一目でわかるよう、対象となるがん検診などの受診券をチケット化し、区民が受診しやすい環境の整備を図る。

★健診（検診）受診環境の整備 [102百万円]

4 带状疱疹ワクチン助成の開始

50歳以上の方を対象に带状疱疹ワクチン接種費用の一部助成を開始する。

★带状疱疹ワクチン助成の開始 [78百万円]

5 がんと共に生きる区民を支える

「がん患者支援に関するニーズ調査」の結果や「がん患者やその家族を支援する連絡会」での議論を踏まえ、患者のQOL向上に向けた取組を検討する。

○がん患者支援連絡会の開催 [1百万円]

6 みどり健康プロジェクトの充実

運動不足解消のため、「ねりまちてくてくサブリ」ユーザーのうち一定歩数を踏破した方に区内スポーツクラブ利用券を贈呈する。

★健康インセンティブ事業の実施 [2百万円]

施策の柱 4

安全・快適、みどり  
あふれるまち

【戦略計画 11】地域の災害リスクに応じた「攻めの防災」の推進 [2,056 百万円]

1 防災まちづくりの推進

密集事業では、先行している貫井・富士見台地区に続き、桜台東部地区において、整備計画に基づき、新規整備路線の測量を開始する。

区独自の防災まちづくり推進地区に指定した田柄、富士見台駅南側、下石神井の3地区において、各種助成制度の個別勧奨などを推進する。

一般緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を重点的に促進するため、耐震診断助成の拡充を図るとともに、耐震化への意識啓発を継続的に実施し、助成制度の活用を促進する。

○密集住宅市街地整備促進事業の推進 [136 百万円]

○防災まちづくりの推進 [39 百万円]

○建築物の耐震化促進 [213 百万円]

○危険なブロック塀などの撤去促進 [64 百万円]

2 水害への対策

都が実施する河川・下水道の整備と連携し、練馬区総合治水計画に基づき、流域対策を進める。個人住宅などに対して雨水浸透施設の設置費用を助成するほか、公園などの公共施設を活用し、設置を行う。

○個人住宅などへの雨水浸透施設の設置費用の助成 [21 百万円]

○雨水浸透施設の設置工事の実施（2 か所） [19 百万円]

3 避難行動要支援者の避難支援の強化

災害時に自力で避難することが困難な方をあらかじめ登録している「避難行動要支援者名簿」について、現況調査を実施し、最新情報に更新する。また、現況調査にあわせて避難行動要支援者が「どこへ」「だれと」避難するかをあらかじめ定めておく個別避難計画の作成を進める。

★避難行動要支援者の安否確認体制の強化と個別避難計画の作成 [87 百万円]

4 災害対応力の強化

(1) 地域別防災マップの作成・訓練の推進

水害リスクの高い地区において順次、地域別防災マップを区民と協働し作成している。令和5年度は3か所で取組を実施し、作成後はこれを活用した訓練を実施する。

○地域別防災マップの作成・訓練の推進 [15 百万円]

(2) オンデマンド動画による防災意識啓発の推進

耐震補強や家具類の転倒防止など、建物と室内の安全対策や、水、食料、生活必需品の備えなどを、いつでも・どこでも・だれでも自助を学べる、オンデマンド環境を整備します。

○ねりま防災カレッジ事業の実施 [29 百万円]

(3) 可搬型トイレの配備

災害時に高齢者や障害者など避難所内での移動が困難な方に配慮するため、屋内でも使用できる可搬型トイレを全ての避難拠点に配備する。

★可搬型トイレの配備 [8 百万円]

5 都市インフラの計画的更新

橋梁の予防修繕、公園遊具の更新、公園灯・街路灯のLED化、道路陥没対策により、都市インフラを計画的に更新していく。

○都市インフラの計画的更新 [1,425 百万円]

施策の柱 4

安全・快適、みどり  
あふれるまち

【戦略計画 12】 みどり豊かで快適な空間を創造する交通インフラの整備

[1,037 百万円]

1 都市計画道路・生活幹線道路の整備と沿道まちづくりの推進

交通の円滑化、災害時の交通確保、みどりの創出など、多様な機能を担う都市計画道路や生活幹線道路の整備を着実に進める。

都市計画道路の整備にあわせて、沿道の土地利用や周辺環境の変化に対応したまちづくりを進める。

○都市計画道路の整備（区画街路 1 号線など 9 区間） [588 百万円]

○生活幹線道路の整備（主要区道 56 号線など 5 区間） [363 百万円]

○放射 36 号線沿道地区のまちづくり [17 百万円]

○補助 156 号線沿道地区のまちづくり [11 百万円]

2 西武新宿線（井荻駅～西武柳沢駅間）の立体化

都、鉄道事業者、沿線区市と連携し、連続立体交差事業および鉄道付属街路などについて、令和 5 年度の事業認可取得に向けて取り組む。

○西武新宿線連続立体交差事業などの推進 [39 百万円]

3 大江戸線の延伸

延伸に必要な具体的な事項について、都と連携の上、区においても調査・検討を継続し、早期事業化を目指した実務的協議を加速するとともに、引き続き、地域と一体となった促進活動を展開する。

○大江戸線の延伸促進 [14 百万円]

4 自転車交通事故の防止

子どもや高齢者などの夜間運転時における視認性を高めるため、小学校交通安全教室や区立施設などで、自転車用 LED 付き反射バッジなどを配布する。

★自転車用 LED 付き反射バッジなどの配布 [5 百万円]

【戦略計画 13】 魅力ある利便性に富んだ駅前と周辺のまちづくり

[3,029 百万円]

1 西武新宿線沿線のまちづくり

連続立体交差化にあわせて、上石神井駅周辺では、市街地再開発事業や建築物の共同化の実施に向けて、事業計画の検討を進める。武蔵関駅周辺では、地区計画や建築物の共同化などの検討を進める。上井草駅周辺では、地区計画の検討や、隣接する杉並区と連携したまちづくりを進める。

○西武新宿線沿線のまちづくり [28 百万円]

2 大江戸線新駅予定地周辺のまちづくり

（仮称）大泉学園町駅予定地周辺では、大泉学園通り（補助 135 号線）の桜並木の再整備や無電柱化など安全で魅力ある道路整備のための拡幅用地の取得を進めるとともに、駅前広場などの事業計画の検討を進める。

大泉町二丁目地区では、地区計画の決定を目指す。補助 233 号線沿道周辺地区では、地区計画の素案作成を進める。

○大江戸線新駅予定地周辺のまちづくり [11 百万円]

3 石神井公園駅南口西地区市街地再開発事業の促進など

石神井公園駅周辺では、南口西地区市街地再開発事業の実施に向け、権利変換計画認可に向けた取組を支援する。南口商店街においては、地域とともに、街並み整備計画の策定と無電柱化の検討を進める。

○石神井公園駅南口西地区市街地再開発事業の促進など [2,898 百万円]

4 鉄道駅周辺のバリアフリー化の推進

光が丘駅 A5 出入口周辺において、下りエスカレーターを整備し、バリアフリー化を推進する。

施策の柱 4

安全・快適、みどり  
あふれるまち

また、区内の駅と主要な公共施設を結ぶ経路（アクセスルート）のバリアフリー整備を進めるため、関係団体や鉄道事業者などと連携し、アクセスルートの追加指定を行う。

- 光が丘駅 A5 出入口周辺のバリアフリー化 [89 百万円]
- ★駅と公共施設を結ぶ経路（アクセスルート）の追加指定 [3 百万円]

**【戦略計画 14】 練馬のみどりを未来へつなぐ [4,281 百万円]**

**1 みどりのネットワークの形成**

(1) みどりの拠点づくりを進める長期プロジェクト

稲荷山公園では、段階的な整備のロードマップを作成する。大泉井頭公園では、「水辺空間の創出」をテーマに、基本計画検討に向けた基礎調査を進める。

- 稲荷山公園の段階的な整備のロードマップの作成、大泉井頭公園基本計画の検討に向けた基礎調査 [28 百万円]

(2) 特色ある公園等の整備

特色ある公園等の整備と整備に向けた取組を進める。

こどもの森では、整備基本計画の改定に着手し、拡張エリアの整備ゾーニングの検討を進める。

平成つつじ公園では、改修に向けた検討を行う。

- ★石神井松の風文化公園（設計） [-]

[再掲 ※【戦略計画 19】 1 誰もが安心して利用できるスポーツ施設の整備]

- ★こどもの森整備基本計画の改定着手（R6 年度改定予定） [6 百万円]
- ★平成つつじ公園（改修検討） [5 百万円]
- ★その他 [4,225 百万円]

**【R5 年度整備予定（3 か所）】**

（新設） ・（仮称）南高松の森緑地

（拡張） ・大泉町もみじやま公園

・北原公園

**【R6 年度以降整備予定（9 か所）】**

（新設） ・（仮称）石神井台六丁目緑地（用地買収・設計）

・（仮称）大泉学園町六丁目公園（用地買収）

・（仮称）北町六丁目公園（設計）

・（仮称）西本村の森緑地（用地買収）

・（仮称）松山の森緑地（用地買収）

（拡張） ・どんぐり山の森緑地（設計）

・やくも公園（測量）

・中ノ宮竹林公園（用地買収）

（改修） ・たけした公園（設計）

(3) 公園トイレのリニューアル

公園のトイレが清潔・快適で、地域にふさわしい個性を備えていることは、公園のみならず区のイメージアップにつながる。令和 5 年度は、維持管理の在り方も含めた「（仮称）公園等トイレ改修計画」の策定などを進める。

- ★（仮称）公園等トイレ改修計画の策定など [15 百万円]

**2 みどりを育むムーブメントの輪を広げる**

みどりを育む基金の新たな短期プロジェクトを開始する。牧野記念庭園では博士ゆかりの植物の保全のため、中里郷土の森ではホテル観察施設の充実のため、寄付の募集を開始する。

- みどりを育む基金（練馬みどりの葉っぱい基金）の運営 [2 百万円]

<p>施策の柱 4</p> <p>安全・快適・みどり あふれるまち</p>	<p>○新たな寄付メニューの開始</p> <p>★牧野記念庭園プロジェクト (寄付目標額 300 万円)</p> <p>★中里郷土の森ホテルプロジェクト (寄付目標額 100 万円)</p> <p><b>【戦略計画 15】 脱炭素社会の実現に向けた総合的な環境施策の展開 [49 百万円]</b></p> <p><b>1 新たな環境基本計画の策定</b></p> <p>令和 32 年 (2050 年) 脱炭素社会の実現を見据え、今後 10 年間の環境施策の取組方針と重点施策を示し、目標達成に向けた総合的な環境施策を展開するため、「(仮称)練馬区環境基本計画 2023」を策定する。</p> <p>○(仮称)練馬区環境基本計画 2023 の策定 (R5 年度策定予定) [2 百万円]</p> <p><b>2 区民や事業者との協働による脱炭素の取組の推進</b></p> <p>「再生可能エネルギー・省エネルギー設備設置補助金」は、R4 年 2 月にゼロカーボンシティを宣言したことを契機に、「カーボンニュートラル化設備補助金」へと改称する。さらに、断熱機能を強化した窓への改修補助の予算規模を拡大するとともに、太陽光発電設備の補助上限額を拡充する。</p> <p>○カーボンニュートラル化設備補助金 [47 百万円] (太陽光発電設備 補助上限額の拡充 5 万円→20 万円)</p> <p><b>3 区立施設における再生可能エネルギー設備の導入促進</b></p> <p>改築工事中の区立小学校において、太陽光発電設備と蓄電池をセットで導入する。事業者が太陽光発電設備を無償で設置し、使用電力量に応じて電気料金を請求する「PPA (Power Purchase Agreement (電力調達契約))」の仕組みについて、区立学校で本格導入に先駆けた実証実験を実施する。</p> <p>○太陽光発電設備と蓄電池をセットで導入 (上石神井北小学校) [-] ※予算額は、【戦略計画 4】夢や目標を持ち困難を乗り越える力を備えた子どもたちの育成 2 学校の教育環境の整備 校舎改築等] に含む。</p> <p>★PPA の導入に向けた実証実験の実施 [-] ※太陽光発電設備の設置および維持管理費は事業者が負担する。</p>
<p>施策の柱 5</p> <p>いきいきと心豊かに 暮らせるまち</p>	<p><b>【戦略計画 16】 地域の特性を活かした企業支援と商店街の魅力づくり [1,036 百万円]</b></p> <p><b>1 練馬ビジネスサポートセンター事業の充実</b></p> <p>(1) 専門相談員の配置・伴走型支援の実施</p> <p>総合相談窓口の配置を常時 3 名体制に増員する。相談員には専門性を有する中小企業診断士を新たに配置する。補助金などの案内だけでなく、積極的に相談者の経営課題を掘り起こし、経営戦略、事業計画の策定・実行を継続的に支援する伴走型の支援を行う。</p> <p>★練馬ビジネスサポートセンター相談体制の強化 [9 百万円]</p> <p>(2) デジタル化への支援</p> <p>令和 5 年 10 月に実施する練馬産業見本市にあわせて、事業者のデジタル化を推進するため、電子商取引サービスや会計システムなどの展示・体験を行うデジタル技術展を開催する。</p> <p>★デジタル技術展の開催 [2 百万円]</p> <p><b>2 スマート商店街プロジェクトの展開</b></p> <p>(1) 商店街のデジタル化に向けた支援</p> <p>キャッシュレス決済の導入や SNS 等を活用した情報発信など消費行動の変化へ対応する商店街の取組を支援する。</p> <p>★商店街魅力発信支援事業の充実 [10 百万円]</p>

施策の柱 5

いきいきと心豊かに  
暮らせるまち

(2) 空き店舗を活用した商店街の賑わい創出の支援

商店街の空き店舗へ出店を希望する事業者を商店会がサポートする取組を引き続き実施する。令和5年度は1商店会で新たに開始する。

★空き店舗活用商店街支援事業 [15百万円]

3 プレミアム付商品券事業、キャッシュレス決済ポイント還元事業の実施

練馬区商店街連合会が令和2年度から3年間実施してきた30%プレミアム付き商品券事業は、コロナ禍の影響を受けている商店街を支援するため、5年度も引き続き実施する。キャッシュレス決済ポイント還元事業は、物価上昇の影響を受けた区民や区内事業者支援の一環として、5年6~7月に実施する。

○プレミアム付商品券事業補助 [200百万円]

★キャッシュレス決済ポイント還元事業 [800百万円]

【戦略計画 17】 生きた農と共存する都市農業のまち練馬 [207百万円]

1 全国都市農業フェスティバルの開催

世界都市農業サミットに続き、国内初となる全国都市農業フェスティバルを開催する。都市農業に積極的に取り組む自治体のうち、東京都内および三大都市圏から1都市ずつ、計4都市を招聘し開催します。

★全国都市農業フェスティバルの開催 [139百万円]

2 (仮称) 農の風景公園の開設

農地や屋敷林などが残る地域の風景を保全、育成する拠点として令和5年3月に開設する。地域、農業者、近隣小学校などと協働し、地域のシンボルとなる公園を目指していく。

★(仮称) 農の風景公園の運営 [37百万円]

3 区民と一体で取り組む都市農業

農業者が行っている野菜の収穫体験イベントについて、統一ネーミングやロゴマークの設定によりブランド化し、気軽に農を体感でき、農業者と交流できるイベントとして開催する。また農業者と区民が触れ合うマルシェの開催を推進するとともに、果樹の摘み取りが気軽に楽しめる練馬果樹あるファームの開設・拡充を支援する。アプリ「とれたてねりま」を活用し、収穫時期の案内や体験受付を行う。

★(仮称) ベジファームの立ち上げ [10百万円]

○マルシェの実施・支援 [11百万円]

○練馬果樹あるファーム・農業体験農園の開設・拡充支援 [7百万円]

○アプリ「とれたてねりま」関連経費 [3百万円]

【戦略計画 18】 みどりの中で優れた文化芸術を楽しめるまち [3,211百万円]

1 美術館の再整備、中村橋駅周辺のまちづくり

令和9年度のリニューアルに向け、5年度は基本設計を完了させ、実施設計に着手する。あわせて、アートを感じられる街並みの整備など地域の方々と連携してまちづくりの検討を進める。

○美術館再整備基本・実施設計 [148百万円]

○中村橋駅周辺のまちづくり [10百万円]

2 優れた文化芸術に触れられる機会の創出

練馬文化センターの大規模改修にともない、夏の風物詩となっている「真夏の音楽会」は東京芸術劇場に会場を移して実施する。「(仮称) ねりまの森の音楽祭」を練馬総合運動場公園で開催、石神井松の風文化公園では「みどりの風 練馬薪能」を開催する。また、名誉区民であり、人間国宝である野村万作さんの協力を得て、トーク&上映会「(仮称) 野村万作から萬斎、裕基へ」を開催する。

<p>施策の柱5</p> <p>いきいきと心豊かに暮らせるまち</p>	<p>○練馬文化センター大規模改修工事 [2,985 百万円]</p> <p>○真夏の音楽会の実施 [14 百万円]</p> <p>★(仮称)ねりまの森の音楽祭の開催 [17 百万円]</p> <p>○「みどりの風 練馬薪能」の開催 [24 百万円]</p> <p>★「(仮称)野村万作から萬斎、裕基へ」の開催 [3 百万円]</p> <p><b>3 練馬の歴史を活かした映像文化のまちづくり</b></p> <p>「(仮称)ねりまの森の映画祭」の令和6年度開催に向けて、映像文化の専門家を招聘しコンテンツなどの検討に着手する。</p> <p>プロの漫画家によるトークイベントやワークショップなど、練馬にしかできない「現役の漫画家に出会える」展示イベントを実施します。</p> <p>このほか、令和5年夏開設予定のスタジオツアー東京と連携した映画上映イベントを実施する。</p> <p>★(仮称)ねりまの森の映画祭検討委託 [1 百万円]</p> <p>★漫画家連携事業の実施 [4 百万円]</p> <p>○映画上映イベントの実施 [5 百万円]</p> <p><b>【戦略計画 19】みどりの中で誰もがスポーツを楽しめるまち [363 百万円]</b></p> <p><b>1 誰もが安心して利用できるスポーツ施設の整備</b></p> <p>石神井松の風文化公園の拡張部分にフットサル・テニス兼用コート、スケートボード等が行える広場などを整備する。令和8年度の開設に向けた基本計画の策定および基本設計を行う。また、桜台体育館の特定天井改修工事および空調機設置工事、石神井プールのプール槽防水シートの貼替など、みどり豊かな環境の中でスポーツを楽しめる環境整備を進める。</p> <p>★石神井松の風文化公園拡張整備基本設計 [27 百万円]</p> <p>★桜台体育館特定天井改修等工事 [208 百万円]</p> <p>★石神井プール防水シート貼替等工事 [83 百万円]</p> <p>★大泉学園町希望が丘公園庭球場人工芝改修工事 [33 百万円]</p> <p><b>2 誰もがスポーツを楽しめる機会の充実</b></p> <p>令和5年11月に光が丘体育館でユニバーサルスポーツフェスティバルの一環としてポッチャ交流大会を実施する。</p> <p>このほか、地域体育館や都立大泉特別支援学校でのパラスポーツ教室の開催など、障害の有無にかかわらず身近な場所でスポーツが楽しめる機会を提供する。</p> <p>★ポッチャ交流大会の実施 [1 百万円]</p> <p>○地域体育館などでのパラスポーツ教室等の実施 [11 百万円]</p>
<p>施策の柱6</p> <p>区民とともに区政を進める</p>	<p><b>【取組強化プラン柱1】区民協働の区政を深化させる [628 百万円]</b></p> <p><b>1 町会・自治会への支援</b></p> <p>SNSなどの情報発信の強化を支援するため、希望する町会・自治会に対して専門知識を持ったアドバイザーの派遣や講習会を実施する。加えて、全町会に「デジタル活用事例集」を配布するなど、町会・自治会が行うデジタル活用を支援する。</p> <p>コロナ禍により活動の縮小を余儀なくされた町会活動の再開を支援するために(仮称)地域応援臨時交付金を支給する。また、掲示板掲示委託料を増額改定し、地域コミュニティの活性化に向けた活動を支援する。</p> <p>○町会自治会のデジタル活用支援 [4 百万円]</p> <p>★(仮称)地域応援臨時交付金 [20 百万円]</p> <p>○掲示板掲示委託料の改定(1基あたり年3万円→年3.3万円) [38 百万円]</p>

施策の柱 6

区民とともに区政を進める

2 「(仮称)ねりま協働ラボ」の着手

新たに町会・自治会とNPO・ボランティア団体がコラボした取り組みなどへの支援と地域活動へのチャレンジを後押しする「(仮称)ねりま協働ラボ」の事業検討、アイデア募集に着手する。

練馬の新しい魅力の創造や地域の課題解決に向けて、区民の自由な発想から生まれたアイデアの具現化を支援する「地域おこしプロジェクト」は5事業の支援に取り組む。

- ★「(仮称)ねりま協働ラボ」のアイデアの募集 [1百万円]
- 地域おこしプロジェクトの実施 [8百万円]

3 地域施設の整備

平和台1丁目(現シルバー人材センター作業所)に、区東部地域で初となる地域活動倉庫の整備に着手する。西大泉地区区民館の大規模改修基本設計に着手するなど、地域施設の改修を進める。

- ★地域活動倉庫整備基本設計 [10百万円]
- 北大泉地区区民館大規模改修工事 [210百万円]
- ★東大泉地区区民館大規模改修工事 [229百万円]
- ★西大泉地区区民館大規模改修基本設計 [11百万円]
- ★練馬高野台駅前地域集会所空調機等更新工事 [97百万円]

【取組強化プラン柱2】DXで区民と区政を直につなぐ [20百万円]

1 キャッシュレス決済導入の推進

令和5年度は、子ども家庭支援センターおよび子ども発達支援センターでの乳幼児一時預かりの利用などでキャッシュレス決済を導入し、利便性を高める。また、練馬区産業振興公社のファミリーパック事業の利用料についても6年度の導入に向けて取り組む。

- ★キャッシュレス決済の導入(R4年度11か所→18か所) [7百万円]

2 “行かない・書かない”デジタル区役所の実現

住民票や戸籍証明書などの交付申請や、転出届の提出など区民事務所窓口で対応している申請、保育園の入園申請手続きについて、LINEを活用したオンライン対応を開始する。

また、引っ越しやおくやみなどに関する行政手続き分野、妊娠中の健康相談やメンタルヘルスなどの健康分野に関する問い合わせに対応するAIチャットボットを導入し、区民の利便性向上を図る。

- ★住民票交付申請等のオンライン対応 [9百万円]
  - ・区民事務所等窓口事務  
(住民票、戸籍証明書、課税・納税証明書、臨時医療費通知交付申請、転出届、国民健康保険脱退届、葬祭費支給申請、飼い犬関係手続き(鑑札交付・再交付、引っ越し、死亡、狂犬病予防注射済票))
  - ・保育園入園申請(令和6年4月入園選考から導入)
- ★AIチャットボットの導入 [4百万円]



### (3) 令和3年度決算

#### ●一般会計

3年度における一般会計決算額は、歳入3,173億1,790万円（前年度3,581億1,268万円）、増減率△11.4%（前年度30.6%）、歳出3,066億5,067万円（前年度3,490億4,250万円）、増減率△12.1%（前年度30.1%）で、前年度に比べて歳入で407億9,478万円の減、歳出で423億9,183万円の減となった。

歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支は106億6,722万円（前年度比17.6%増）の黒字となった。

#### 1 歳入

歳入のうち、一般財源の構成比は58.8%で、前年度（48.9%）と比べ、9.9ポイント増となった。一般財源の内訳としては特別区税22.0%、特別区交付金28.7%と、この二つで50.7%を占めている。

特定財源の構成比は41.2%で、前年度（51.1%）と比べ、9.9ポイント減となった。

さらに、財源が自主的に調達できるか否かで区分した自主・依存財源別で見ると、自主財源（区税、諸収入、繰入金、使用料など）は28.2%（前年度25.2%）、依存財源（国庫支出金、都支出金、地方債など）が71.8%（前年度74.8%）であり、自主財源の構成比は3.0ポイント増となった。

#### 2 歳出

目的別（科目別）の構成比で見ると、保健福祉費、子ども家庭費、教育費、総務費の順となった。前年度に比べて、子ども家庭費、総務費、諸支出金等が増となる一方、保健福祉費、産業経済費、区民費等が減となった。

性質別にみると、義務的経費、投資的経費、その他の経費に分けられる。

義務的経費は1,717億207万円で、前年度に比べて人件費が1.7%の減、扶助費が15.5%の増、公債費が9.0%の増となった結果、義務的経費は10.3%の増となった。歳出全体に占める構成比は56.0%と前年度に比べ11.4ポイント増となった。

投資的経費は279億2,935万円で、前年度に比べて5.6%の増、歳出全体に占める構成比は9.1%と前年度に比べ1.5ポイント増となった。

その他の経費は1,070億1,925万円で、前年度に比べて35.9%の減となった。構成比で見ると物件費が大きく、以下、繰出金、補助費等の順となった。

#### 3 特別区債

特別区債の歳入額は61億9,970万円で、前年度に比べて41.2%増となった。このうち、保健福祉債

が42億70万円で構成比は67.8%であり、教育債が11億700万円で、構成比は17.9%である。

また、特別区債の3年度の未償還元金は、571億6,804万円である。

#### ●特別会計

特別会計のうち、国民健康保険事業会計は、前年度に比べ歳入で3.7%、歳出で3.3%の増となった。

つぎに介護保険会計は、歳入で4.5%、歳出で3.9%の増、後期高齢者医療会計は、歳入で0.5%、歳出で0.6%の減、公共駐車場会計は歳入、歳出とも7.3%の減となった。

#### ●財政指標

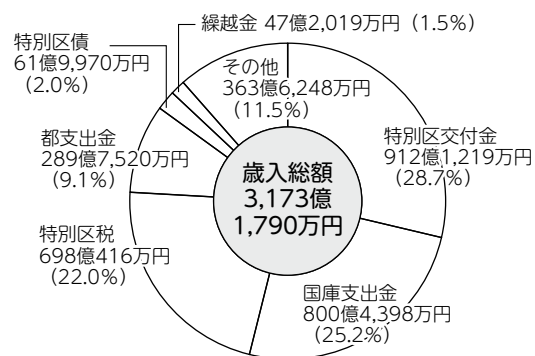
地方公共団体の財政状況の分析に用いる普通会計決算上の指標は、財政力指数が0.47（前年度0.47）、実質収支比率が5.9%（前年度5.1%）、実質公債費比率が△2.5%（前年度△3.1%）、公債費負担比率が3.7%（前年度2.5%）、経常収支比率が84.8%（前年度85.9%）であった。

## 3年度一般会計決算

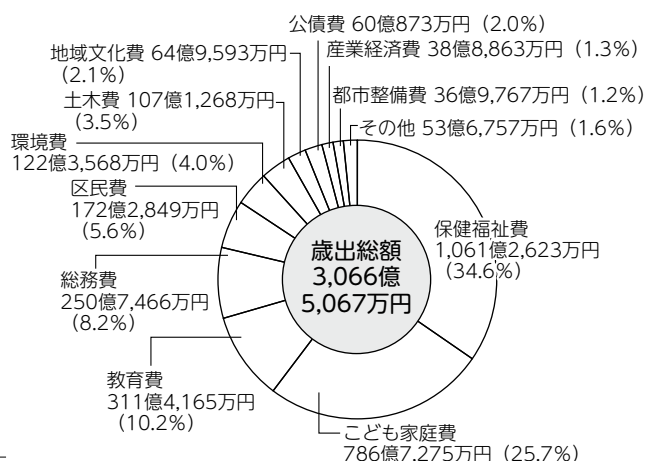
## 〔歳入〕

区分	予算現額	決算額	構成比	収入率	前年度	増減率
	千円	千円	%	%	千円	%
特別区税	68,707,224	69,804,162	22.0	101.6	69,278,731	0.8
地方譲与税	1,010,001	1,068,686	0.3	105.8	1,050,291	1.8
利子割交付金	210,000	183,247	0.1	87.3	197,200	△ 7.1
配当割交付金	800,000	1,315,414	0.4	164.4	953,405	38.0
株式等譲渡所得割交付金	910,000	1,607,159	0.5	176.6	1,109,667	44.8
地方消費税交付金	15,711,550	16,209,955	5.1	103.2	14,673,245	10.5
環境性能割交付金	302,000	235,302	0.1	77.9	183,126	28.5
地方特例交付金	569,058	569,058	0.2	100.0	608,873	△ 6.5
特別区交付金	87,328,271	91,212,189	28.7	104.4	84,257,745	8.3
交通安全対策特別交付金	60,000	69,209	0.0	115.3	70,856	△ 2.3
分担金及び負担金	1,130,295	1,162,787	0.4	102.9	916,337	26.9
使用料及び手数料	4,712,017	4,630,620	1.5	98.3	4,381,912	5.7
国庫支出金	88,121,537	80,043,981	25.2	90.8	131,069,955	△ 38.9
都支出金	28,965,530	28,975,204	9.1	100.0	29,236,321	△ 0.9
財産収入	386,000	349,097	0.1	90.4	438,705	△ 20.4
寄付金	102,008	109,371	0.0	107.2	353,323	△ 69.0
繰入金	12,485,538	4,535,675	1.4	36.3	7,565,015	△ 40.0
繰越金	4,720,186	4,720,187	1.5	100.0	3,104,591	52.0
諸収入	4,212,658	4,316,890	1.4	102.5	4,271,997	1.1
特別区債	6,393,300	6,199,700	2.0	97.0	4,391,300	41.2
自動車取得税交付金	0	3	0.0	-	88	△ 96.6
計	326,837,173	317,317,896	100.0	97.1	358,112,683	△ 11.4

## 〔歳入〕



## 〔歳出〕



## 〔歳出 (目的別)〕

区分	予算現額	決算額	構成比	執行率	前年度	増減率
	千円	千円	%	%	千円	%
議会費	987,317	956,443	0.3	96.9	986,958	△ 3.1
総務費	25,852,327	25,074,663	8.2	97.0	22,251,322	12.7
区民費	18,501,675	17,228,484	5.6	93.1	17,851,606	△ 3.5
産業経済費	4,085,845	3,888,631	1.3	95.2	4,845,584	△ 19.7
地域文化費	6,631,886	6,495,929	2.1	97.9	7,085,247	△ 8.3
保健福祉費	117,276,546	106,126,231	34.6	90.5	159,090,029	△ 33.3
環境費	12,529,873	12,235,684	4.0	97.7	12,643,347	△ 3.2
都市整備費	3,826,932	3,697,674	1.2	96.6	4,000,083	△ 7.6
土木費	10,949,183	10,712,679	3.5	97.8	11,094,208	△ 3.4
教育費	32,536,832	31,141,649	10.2	95.7	31,399,737	△ 0.8
子ども家庭費	83,133,717	78,672,748	25.7	94.6	68,937,839	14.1
公債費	6,008,758	6,008,727	2.0	100.0	5,666,931	6.0
諸支出金	4,416,282	4,411,132	1.4	99.9	3,189,605	38.3
予備費	100,000	0	0.0	0.0	0	-
計	326,837,173	306,650,674	100.0	93.8	349,042,496	△ 12.1

## 〔歳出 (性質別)〕

区分	決算額	構成比	前年度	増減率
	千円	%	千円	%
義務的経費	171,702,069	56.0	155,663,867	10.3
人件費	43,889,055	14.3	44,653,162	△ 1.7
扶助費	120,533,673	39.3	104,331,697	15.5
公債費	7,279,341	2.4	6,679,008	9.0
投資的経費	27,929,355	9.1	26,452,053	5.6
普通建設事業費	27,929,355	9.1	26,452,053	5.6
災害復旧事業費	0	0.0	0	-
失業対策事業費	0	0.0	0	-
その他の経費	107,019,250	34.9	166,926,576	△ 35.9
物件費	55,885,301	18.2	46,173,767	21.0
維持補修費	2,598,676	0.8	2,990,163	△ 13.1
補助費等	19,521,794	6.4	92,306,443	△ 78.9
積立金	1,316,767	0.4	476,076	176.6
投資及び出資金貸付金	3,062,071	1.0	2,066,863	48.2
繰入金	24,634,641	8.0	22,913,264	7.5
計	306,650,674	100.0	349,042,496	△ 12.1

## 3年度特別会計決算

## 〔国民健康保険事業会計〕

区 分	予算現額	決算額	構成比
(歳入)	千円	千円	%
国民健康保険料	16,483,293	17,228,559	26.6
一部負担金	2	0	0.0
使用料及び手数料	1	145	0.0
国庫支出金	123,762	132,473	0.2
都支出金	42,887,305	42,046,882	64.9
財産収入	1	0	0.0
繰入金	5,860,933	4,810,697	7.4
繰越金	456,015	456,015	0.7
諸収入	93,470	110,950	0.2
特別区債	1	0	0.0
計	65,904,783	64,785,721	100.0
(歳出)			
総務費	1,270,315	1,230,805	1.9
保険給付費	42,409,234	40,808,271	63.7
国民健康保険事業費納付金	20,916,080	20,916,077	32.7
財政安定化基金拠出金	1	0	0.0
保健事業費	706,158	693,801	1.1
諸支出金	402,995	374,666	0.6
予備費	200,000	0	0.0
計	65,904,783	64,023,620	100.0

## 〔介護保険会計〕

区 分	予算現額	決算額	構成比
(歳入)	千円	千円	%
介護保険料	12,709,072	12,565,061	20.8
国庫支出金	14,118,289	14,601,675	24.1
支払基金交付金	15,841,745	15,460,719	25.5
都支出金	8,694,608	8,770,329	14.5
財産収入	2,292	2,240	0.0
繰入金	8,434,989	8,194,942	13.5
繰越金	933,255	933,255	1.5
諸収入	6,294	6,336	0.0
計	60,740,544	60,534,557	100.0
(歳出)			
保険給付費	57,021,789	55,545,534	93.8
財政安定化基金拠出金	1	0	0.0
地域支援事業費	2,747,783	2,712,848	4.6
基金積立金	633,116	633,116	1.1
諸支出金	337,855	332,682	0.6
計	60,740,544	59,224,180	100.0

## 〔後期高齢者医療会計〕

区 分	予算現額	決算額	構成比
(歳入)	千円	千円	%
後期高齢者医療保険料	8,304,250	8,335,387	50.0
使用料及び手数料	1	9	0.0
国庫支出金	138	140	0.0
広域連合支出金	488,733	484,882	2.9
繰入金	7,838,433	7,736,149	46.4
繰越金	1	0	0.0
諸収入	104,486	103,484	0.6
計	16,736,042	16,660,051	100.0
(歳出)			
総務費	128,611	120,794	0.7
広域連合拠出金	15,489,199	15,489,195	93.1
保健事業費	789,912	705,829	4.2
葬祭費	302,400	300,740	1.8
諸支出金	20,920	17,392	0.1
予備費	5,000	0	0.0
計	16,736,042	16,633,950	100.0

## 〔公共駐車場会計〕

区 分	予算現額	決算額	構成比
(歳入)	千円	千円	%
繰入金	120,602	112,400	28.2
繰越金	1	0	0.0
諸収入	300,814	286,500	71.8
計	421,417	398,900	100.0
(歳出)			
公共駐車場事業費	245,910	239,515	60.0
公債費	84,070	84,069	21.1
諸支出金	86,437	75,316	18.9
予備費	5,000	0	0
計	421,417	398,900	100.0